

L I F E

C A R E

S Y S T E M



 一般社団法人

ライフケアシステム

一般社団法人
ライフケアシステム

〒101-0061
東京都千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル9階
TEL 03-3292-5117 FAX 03-3292-6306
<http://home.lifecare-sys.jp>

主役はあなた。

自分らしい人生を
最期まで送っていただくために
健康と医療を
総合的にサポートします

ライフケアシステムは
会員制の団体です

ライフケアシステムは、「自分たちの健康は自分たちで守る」という精神に基づき、元気な時から生涯にわたって健康を支えあう会員制の団体です。

1981年に在宅医療の第一人者である佐藤智医師が当時の患者とその家族とともに設立しました。

当時のエピソードがあります。佐藤医師が東京を離れている時、高齢の患者が夜中に具合が悪くなり、救急車で病院に搬送されるといことがありました。幸い患者は回復しましたが、「先生に相談できなくて、とても不安だった」と訴えたのです。

「24時間・365日、医師に相談することができる仕組みを作ろう」。佐藤医師はそう考えて、ライフケアシステムは発足したのです。2003年に法人格を取得し、

在宅医療の先駆的な組織として活動を続けて来ました。

「家庭医」がひとりひとりを
全人的に診ます

その後、医療制度が改正され、介護保険が導入されて、公的保険を利用して、在宅医療と介護サービスが受けられるようになりました。しかし、健康保険と介護保険だけでは、個人が望む医療を受けることが難しいのが現実です。

ライフケアシステムの会員になると、「家庭医」を持つことになり、その人の人生観や価値観、仕事やライフスタイルを踏まえ、全人的に診るのが家庭医です。

「病院を受診したほうがよいか」「どの科を受診するべきか」等の相談に答え、適切な病院や専門医を紹介します。

ライフケアシステムのサービス
の大きな柱は、医師による24時間の電話相談です。会員は、夜間・休日を含め、体調に変化が生じた

辻 彼南雄

ライフケアシステム 代表理事
水道橋東口クリニック 院長

時、医師に電話で相談することができます。緊急時には、医師が電話で救急隊員と連絡を取り合い、病院の選択と搬送先の病院での処置が迅速かつ適切に行われるようサポートします。

希望に沿った医療やケアを
選択して、自分らしい生活を

ひとり暮らしと二人暮らしの世帯が増えている現代、「持病を抱えてのひとり暮らしが不安」「夫婦ともに高齢になって、老老介護になってしまった」等、個別の悩みや相談が増えています。

ライフケアシステムでは、家庭医、ソーシャルワーカー、看護師が連携して、在宅での療養生活を支援するほか、会員が病院に入院しても、施設に入所しても、訪問して相談にのります。

希望に沿った医療とケアを選択して、自分らしい生活を送れるよう会員を総合的にサポートするのがライフケアシステムです。

いざという時に頼れる
「家庭医」を
持つことの安心



ライフケアアシスタンスシステムの活動

健康ケアサービス

医師による24時間対応 電話相談（緊急時相談）

会員専用の電話番号があり、医師への相談、緊急連絡にお使いいただくことができます。健康と医療について総合的な相談が可能です。平日の日中の場合は、電話が事務局につながり、医師に直接相談することができます。平日の夜間や休日に体調の異変が生じた場合は、留守番電話につながりますので、相談内容を録音していただくと、その後間もなく医師から連絡が入る仕組みになっています。早めに症状を把握することによって病気を早期に見出し、服用



看護師と医療ソーシャルワーカーが電話での相談に対応

検査を受けていただくことが可能です。検査の結果を受けて、家庭医が面談し、健康と医療についてのアドバイスをしています。

リビンググワイルの保管

ご本人の意思・意向を生かすためのお手伝いをいたします。望まない医療を受けることがないようサポートすることも可能です。

講演会

毎年1回、医療やケアに関連する有識者を招き、公開講座を開催。会員同士の交流の場にもなっています。

薬などの対応を迅速に図ります。緊急時には電話で救急隊員と連絡を取り合い、病院の選択と搬送先での処置が迅速かつ適切に行われるようサポートします。

医師・看護師・医療ソーシャルワーカーによる総合相談と療養生活支援 （電話・メール・来所・訪問）

医師、看護師、医療ソーシャルワーカーがチームを組み、会員の健康と医療について総合的な相談に応じます。連携協力医療機関である水道橋東口クリニックに来ていただいで行う相談のほか、電話、メールによる相談、自宅や入院先の病院、入所中の施設を訪問して行う相談も行っています。

会員からの相談を受けると、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、

ニュースレター

毎月ニュースレターを発行し、医療・健康情報等を提供しています。

会員交流

会員がお住まいの地域で開かれる最寄り会のほか、水道橋東口クリニック内ではカフェが開かれ、いずれも会員とスタッフが歓談を通して学びを深め、絆を深める場となっています。

グリーンフカード・クリスマスカード

ご家族と死別された会員の方に、悲しみの心のケアとして、グリーンフカードをお送りしています。ク

カーの専門職チームはすみやかにミーティングを開き、問題の解決策を見つけます。医療、介護、住宅、家族等の複数の問題を同時に抱える高齢者には、医療、看護、福祉の専門職チームのアプローチがとりわけ有効です。療養中の心理的、社会的な問題の解決、調整、退院、社会復帰、医療機関受診等への援助についても相談に応じ、解決策を実行します。

会員健診

毎年、健康診断券を配布して、健康診断を勧め、家庭医が面談して、お一人お一人に必要な健診メニューを作ります。水道橋東口クリニックと同じビル内の総合健診センター（結核予防会第一健康相談所）で血液検査、尿検査、レントゲン検査、CT検査を含む各種

手工芸品バザー

クリスマスカードをお送りするのも毎年の恒例です。会員が作る手工芸品を頒布するバザーを毎年行っています。手作りの品を通じて、会員同士が心と心のつながりを深めるきっかけとなっています。



医師が会員さんのご家庭を訪問して診察



ライフケアアシスタンスのスタッフ

家庭医のいる診療所

水道橋東口クリニック

医療法人社団
互酬会

医療法人社団互酬会水道橋東口クリニックは、30年以上にわたり「家庭医クリニック」として、また「ライフケアシステム」の連携協力医療機関として、外来診療（内科・老年内科）及びご自宅や入居施設への訪問診療を行っており、緊急時対応と専門的対応を強化した「機能強化型在宅療養支援診療所」として24時間対応の在宅医療を提供しています。健康の相談、病気の治療からご自宅や入居施設における看取りに至るまで、看護師・医療ソーシャルワ

ーカーを加えたチームが、医療を受ける立場に立って、親切な対応と丁寧な説明を心がけて対応しています。高齢者の認知症についてのご相談も積極的に受け付けています。また、都内30以上の医療機関と連携し、専門医療が必要と判断した場合に連携病院の信頼できる専門医をご紹介します。その他、東京大学医学部附属病院の臨床研究協力医療機関として研修医の受け入れを行っているほか、ベテラン専門医を非常勤医師としてお招きしています。

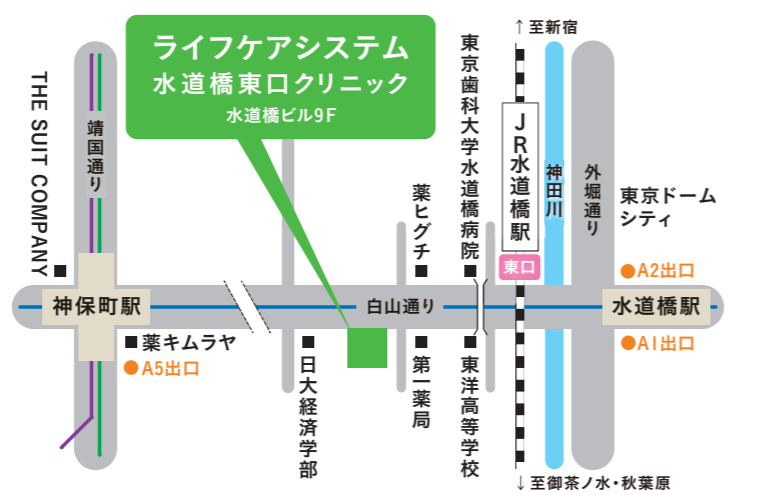


ACCESS

JR 総武線
水道橋駅東口改札より
神保町方向に徒歩3分

都営地下鉄 三田線
水道橋駅A1出口より
神保町方向に徒歩5分

都営地下鉄 三田線・新宿線
東京メトロ 半蔵門線
神保町駅A5出口より
水道橋方向に徒歩10分



夜間、 具合が悪くなった時、 電話相談で安堵

夜 間、体調が急に悪くなり、発熱。24時間対応の緊急電話にかけたら、先生からすぐに連絡がありました。こちらの症状を聞き、風邪と診断。先生の指示で常備薬を服用し、水分を多めにとり、温かくして休むことで、回復しました。

A・Tさん 57歳

治療や服薬等、健康に 関して何でも相談に のってもらえるのが 心強い

気 管支喘息、高血圧、糖尿病、変形性関節症、白内障と複数の病気でいろいろな科に通院しています。どのように治療を受け、服薬をすればよいのか、トータルに診て、相談にのってくれるので、心強いです。

T・Hさん 69歳

電話で救急車を 呼ぶよう アドバイスを受け、 命拾い



在宅療養生活を サポートして もらった

軽 い脳梗塞で入院。ひとり暮らしのため、退院後の生活が心配でしたが、家庭医の先生や看護師、ソーシャルワーカーの方が自宅を訪問して、療養をサポートしてくれました。幸い後遺症も残らず、今では元気に過ごしています。

E・Kさん 75歳



健 康診断で思いもよらずがんが見つかり、不安でいっぱいでした。どうしたらよいかわからず途方に暮れていましたが、そんなときにライフケアシステムの先生、看護師さん、ソーシャルワーカーさんが親身になって相談にのってくれたので、一緒に考えてくれる強い味方ができたと感じ、希望が湧いてきました。

Y・Mさん 62歳

医療機関を紹介して もらい、納得のいく 治療が受けられた

突 然、胸の痛みに見舞われたのは日曜の夜。朝になったら病院へ行こうと我慢していましたが、緊急電話で先生に相談したところ、すぐに救急車を呼ぶよう指示を受けました。先生が救急隊員と直接話をしてくれたおかげで搬送もスムーズに進み、病院では急性心筋梗塞と診断されました。あのまま我慢していたらと思うとぞっとします。

K・Oさん 81歳